# 契（ちぎり）通信VOL.179

２０２０年１１月２７日発行
株式会社チキリ　社長室編集

## 凄すぎる中国のコロナ対応

立冬を過ぎ、日本の上空に強い寒気が流れ込み、東京では３年ぶりに「木枯らし一号」が観測されました。朝起きると１０度近い日が続き、一気に冬へ加速していく様でしたが、中旬になると打って変わって季節が逆戻りしたかの様な暖かな陽気になり、２５度を超える夏日を記録する地域も多くありました。

さて、先月「今年初めから始まったコロナウイルスによる経済の低迷も最悪期を脱したようです。」と書きましたが、私の早合点だったようです。国内はもちろん世界中で第３波の勢いが止まりません。

そんな中で中国の感染症対策がすごいです。１０月に新疆ウイグル自治区でクラスターが出ると即周辺地域を封鎖。同地域を中心に約４７０万人が検査を受け迅速に感染者が確認されました。また、山東省青島市でも病院で集団感染が発生後、即当該地域を封鎖。翌日には青島全市民約１０７０万人を対象にＰＣＲ検査を実施し、全員の陰性を確認しています。

日本でもこれくらいの対応が取れないものでしょうか？医療機関の体制を整え、せめてもう少し簡単にＰＣＲ検査を受けることが出来る様になればと思います。

代表取締役　服部厳一郎

## なんだ・かんだ

### ◆　中部経済　◆

先日の日本経済新聞の特集欄に、「中部経済特集」が掲載されていました。その中で、「トヨタ自動車の７～１２月の世界生産台数は、前年同期実数を上回り過去最高となりそうだ。」という記事が出ていました。中でも、ＲＡＶ４の生産が好調で、同車を生産する工場では休日稼働で生産をしているということです。

トヨタグループの８社も好調で、４～９月の上期は５社が最終赤字だったのが、１０～３月の下期は１社を除く７社が黒字見込みだということです。

また、中国の景気回復により自動車関連を中心に、半導体・電子部品・化学品など多様な製品の輸出も増加しているということです。特に１０月の対中輸出は前年同月比で１３％も増えていて、比較ができる１９７９年以降で最大であったということです。

そんな回復基調の中で当社の状況はというと、４月から９月までの半期はなんとか凌いできましたが、１０月からの後期に入り厳しい状況になって参りました。１０月・１１月の販売が落ち込み、見積物件も「年度末までの様子を見て」と、多くのお客様において予算執行に対して慎重な姿勢が目立ちます。新聞にあるような目に見えるような経済の復調を感じることが出来ません。

実際にお客様の声を聞いてみると、春以降厳しい状況が続く中、コロナ前まで戻る兆しが見えない。また、ある業界のお客様では、リーマンショック以降業界全体の落ち込みが元に戻らない。現状の落ち込みは、春先から回復してくるだろうが今後もリーマン以前には戻らないだろうとおっしっていました。

しかしながら、皆さん手をこまねいてばかりではいません。既存の製品販売が厳しい中、生産減少に対しては、経費の削減はもちろん、工程の効率化や生産拠点の集約など様々な手を打つと同時に、新たな試みへの投資も行っています。現状打開のため、また将来に向けこれまで車や家電の部品を加工製造販売していた会社が、医療や航空宇宙産業、更に生活インフラなどの異業種への挑戦を試みています。

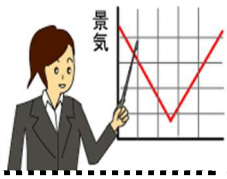
そうそうに不振を挽回しているあのアイシン精機が、ウーバーイーツの様な出前サービスを展開しているということです。これは既存の仕事と全くかけ離れているという訳ではなく、位置情報技術というアイシンの強みを生かした新事業だということです。

我々もこの新しい動きに乗り遅れることが無いようにアンテナを高くして日々業務に当たりたいと思います。

こんな経済の復調が垣間見られる中、心配なのはコロナの感染者数の増加です、重症者数も第一波を上回る勢いで、ＧＯＴＯも東京・札幌と感染者数の多い地域は除外されることになりました。

静岡県でも連日過去最高が記録され、それまで静岡市、浜松市の中西部が８割がた占めていましたが、少なかった東部でも沼津でついにクラスターが発生するなど不穏な状況になってきました。

感染者数がこれ以上増えずに、そしてワクチンが１日でも早く全世界に行き渡るように祈っています。




## 社員ブログ

### ●　家庭菜園　●

営業部　水間望

私の趣味の一つに家庭菜園があります。狭い菜園ですが、1年間を通して10種類程度の野菜を育てて楽しんでいます。

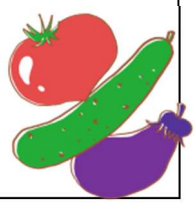
車も家も寒冷地仕様が標準で、冬には毎年雪が積もり氷点下が続いて土まで凍る隣県の出身者としましては、１年を通じて温暖な静岡県はとても過ごしやすく、菜園のやりがいがあります。

野菜の中でも一番長い期間収穫できるのが、「ナス」です。4月の下旬に接木の苗を2本植え、手入れをタイミング良く行えば6月から10月中旬まで5カ月もの間収穫することができます。

今年は大変豊作で、家族4人がほぼ毎日ナスを食べざるを得ない程収穫できました。（多い時は、おかずから味噌汁まで全てナスが陣取っています）

先月そのナスも、いよいよ花が咲かなくなり実が出来なくなってきたので、これまでの収穫に感謝しつつ、片づけて冬野菜の準備をしました。

野菜の家庭内自給率と家族の健康力アップを一層上げてゆきたいと思います。



## ■ コロナ対策に非接触温度測定器 ■

ポールスタンドの上に大きめのスマホが載っている様な外観で、上部にセンサーがあり、AI カメラが写った人の顔を自動認識し、瞬時に表面温度を検知測定。一定以上の温度（例えば37.5℃）の場合、色とアラートでお知らせいたします。

マスクや帽子を着けていても顔が 2/3 以上露出していれば非接触で自動検知をします。

AC100V 電源があれば、特別な工事などの必要もありません。設置するだけで簡単に運用ができます。詳細は当社営業マンにお尋ねください。

本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思います。次回からの発送を中止させて頂きます。

株　式　会　社　チ　キ　リ
静岡県駿東郡清水町卸団地 73
Tel 055-971-9610　Fax 055-973-1534
E-mail g.hattori.1@chikiri.com　URL http://www.chikiri.com/